

「こらぼ」とは、コラボレーションの略です。家庭、学校園、地域社会、事業者の協働による教育の相乗効果を期待するという願いが込められています。



学校全体で子どもを育てる

特集

チームで取り組む 人づくり

子どもたちが学ぶ学校にはどんな職種の人たちが働いているのでしょうか。それぞれの仕事にはどんな専門的な役割があり、どんな思いで子どもたちと関わっているのでしょうか。今回は、それぞれの立場で子どもたちを見守る学校職員を紹介します。

多様な関わり合いの中で
子どもの可能性を育む

学校には、教員だけでなく、学校事務職員、学校栄養職員、給食調理員、学校司書、スクールカウンセラーなど、多くの職種の人たちが勤務しています。子どもたちは、授業を通じて学力を身につけるだけでなく、さまざまな職員による指導や学校に関わる多くの人との交流を通じて個性を伸ばし、自らの可能性を広げています。

連携により
教育環境の充実を目指す

より複雑化・多様化していく教育課題を解決していくためには、学校全体の組織力を生かし、チームで子どもの成長を支える教育環境づくりが不可欠です。学校では、全職員がそれぞれの専門性を発揮するとともに、互いに連携を取り合い、組織としての力を向上させるよう努めています。

学校で働く人

- 教員 (校長・副校長・教頭・教諭・養護教諭・講師など)
- 学校事務職員
- 学校栄養職員
- 給食調理員
- 学校司書
- 用務員
- スクールカウンセラー
- 学校医・学校歯科医・学校薬剤師
- ALT (外国語指導助手)
中学校の英語の授業や、小学校5・6年生の外国語活動を教員とともにを行っています。
- 岡山っ子スタート・サポーター
- 習熟度別サポーター
学習のつまずきが生まれやすい小学校2年生～6年生を対象に、習熟度別に少人数でのきめ細かい指導を行い、一人ひとりの学力向上を図っています。
- 生徒指導員
学習指導や学校生活全般のサポートを行っています。
- 特別支援教育支援員
障害のある子どもの自立をサポートしています。
- 不登校児童生徒支援員
不登校児童生徒を迎えに行くなど、不登校の未然防止や早期解決に取り組んでいます。

みんな何人の先生を知っていたかな？
中面では先生からのメッセージをピックアップして紹介するワン!!



協力してくれている人

- 学校支援ボランティア
保育や学習の支援、特別な支援を必要とする子どものサポート、環境整備、部活動の補助、登下校時の見守りなど、活動内容はさまざまです。
- 地域コーディネーター
学校園と学校支援ボランティア間の連絡調整などを行っています。
- ゲスト・ティーチャー など
地域の方や保護者、各種団体や企業の方などに特別講師として授業に参加していただいています。

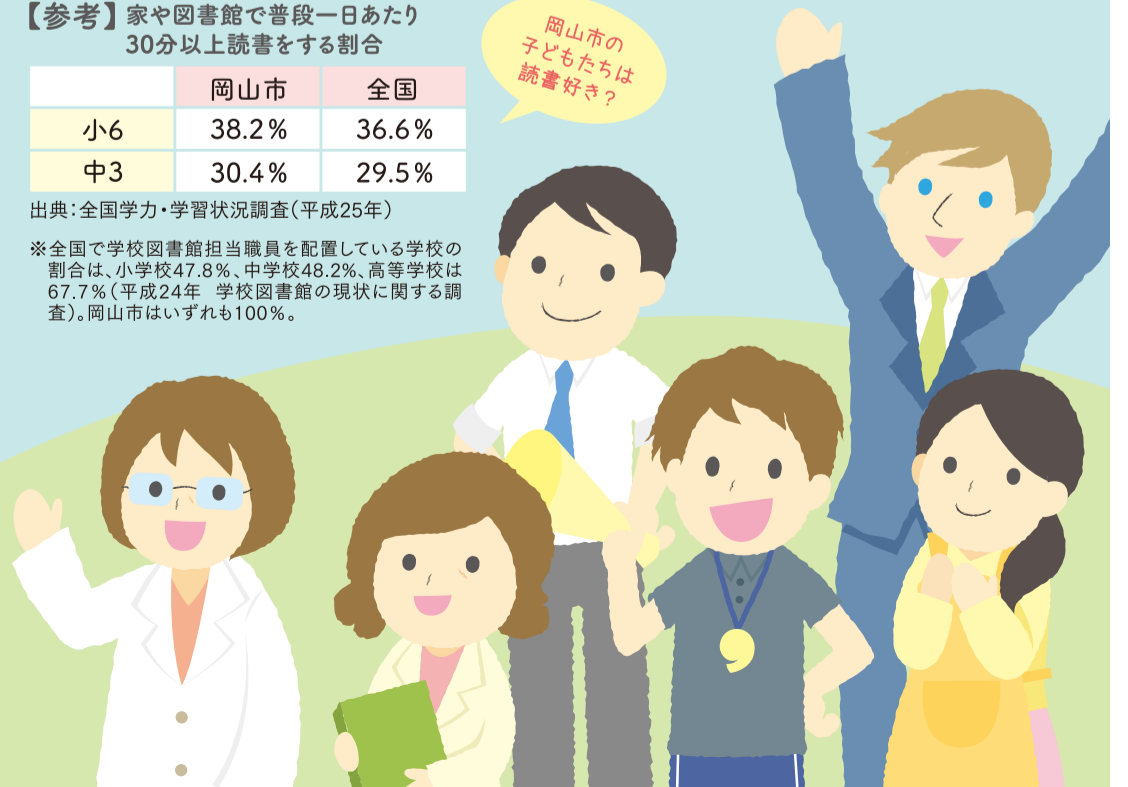
【参考】家や図書館で普段一日あたり30分以上読書をする割合

	岡山市	全国
小6	38.2%	36.6%
中3	30.4%	29.5%

出典：全国学力・学習状況調査(平成25年)

※全国で学校図書館担当職員を配置している学校の割合は、小学校47.8%、中学校48.2%、高等学校は67.7%(平成24年 学校図書館の現状に関する調査)。岡山市はいずれも100%。

岡山市の子どもたちは読書好き?



学校で働く人たちのメッセージ

人がくり応援団

学校にはいろんな先生がいて、その役割は実にさまざま。担任の先生とは違う立場でぼくたちをフォローしてくれているんだ!



子 子どもたちがどんなことを知っていたのか、どんなものを読みたいか、少しでも希望に応えられるようにすることで、本を好きになってもらえればと思っています。名作にとらわれず、ライオンベルでも恋愛ものでも、どんなジャンルでもいいので、まずは自分の気持ちに合った本と出会うことが大切。朝読書や家読などで読書に慣れていくうちに、文字を読むことに抵抗がなくなり、思考力や表現力を身につけると同時に、夢中になれる一冊を通じて、感じる力や生きる力を育んでもらえるとうれしいですね。最近では、新聞を教材にした学習「NIE」(教育に新聞を)にも取り組んでいます。

学校司書

高島中学校(中区)
岡本 紀子先生



スクールマネージャーとして広い視野で元気な学校づくりを目指しています

学校事務職員

御南中学校(北区)
奥山 玲子先生



スクールカウンセラー

御南小学校(北区)
林 順子先生



相談しやすいよう学校に関わる人とのつながりを大切にしています

ス クールカウンセラーは学校というチームで取り組むという思いから、教員や他の職種の職員と雑談しながら交流し、情報交換をすることを大切にしています。児童とは給食時間に各クラスを訪ね、ふれあうことで、私の仕事を知らせてもらえるよう掛けています。交流やふれあいの積み重ねが、児童や教員が相談してくれるきっかけにもなります。誰かに相談することは、問題解決の第一歩。相談者には「よく来たね」と声を掛け、気持ちに尊重して話を聞くようにしています。保護者の方からは子育ての悩みをよく聞き、また子どもがピンチのときの接し方が重要。追いつめるのではなく、まずは頑張りをほめて、子どもが愛情を実感できるような接し方が大切ですね。

こんなお仕事

本の貸し出しや蔵書の管理、選書はもちろん、授業での「調べ学習」に使う本を用意したり、教員と連携しながら学習内容をより深める手助けをしたりしています。生徒一人ひとりの感性に合った本を紹介し、読書の魅力を伝えることも大切な役目です。



先生のおかげで本好きに

中1の時、岡本先生におすすめの本を教えてもらって読んだら、その時の自分の気持ちにどんぴしゃり。以来、本が好きになり、図書館に通うのが楽しくなりました。校内放送で使うちょっとした「感動話」のネタなども、本や新聞の切り抜きから用意してくださるなど、いつもいろいろ相談にのってもらっています。



3年生 上田希乃さん

さまざまな本に出会うことで、深く知り、感動できる体験を

上田さんのオススメ

「百年法(上・下)」
山田 宗樹著/角川書店
「十角館の殺人」
綾辻 行人著/講談社

緑の下の力もちとしてお花のお世話から学校の修理まで何でもこなします!

用務員

陵南小学校(北区)
植山 久恵先生



花 の世話をしたり掃除などを手伝ってもらう機会が多い仕事です。特に栽培委員会の児童とは花の名前プレート作りや校内の花マップ作りなどに取り組み、他の児童に興味を持ってもらえるよう努めています。一年生からは「お花の名人さん」と呼ばれ、授業で育てているアサガオについて質問攻めにあうことも。花の世話だけでなく、施設の整備も仕事のひとつで、三年生とは掃除の時間に運動場の整備を行っています。児童が「お花がきれいだね」と話しかけてくれると、ちゃんと見てくれてるんだなと励みになります。

こんなお仕事



花植えや植木の剪定(せんてい)、花壇の管理などの環境整備や、壊れた道具の修理、壊れた施設の修繕などが主な仕事です。学校内で気付いたことがあれば、基本的に何でもやりま

花の知識がすごすぎる!

植山先生のすごところは、花の名前をものすごく知っているところ。育て方も優しく教えてくれるので、とても勉強になります。毎日毎日、草抜きや花の手入れをしてくれてありがとうございます。

岡山っ子スタート・サポーター

芥子山小学校(東区)
藤田 修代先生

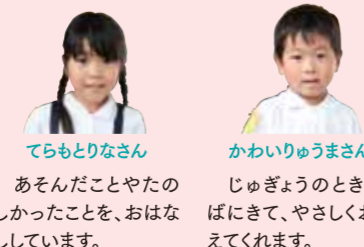


小学1年生のスタートを応援。いつもは「お助け先生」と呼ばれています

一 年生のクラスでは、担任の先生の指示が全員に伝わっていない場面もあります。戸惑っている子には、指示を出すのではなく、そばに行き「先生の言ったことわかるかな」と声をかけ、なにするかを伝え行動できるようにサポートします。日々の生活では、静かに座って待つ、当番の仕事をする、毎朝提出物を出すなど、自分からルールに気が付いて取り組めるよう見守っていきます。

1年生の優しい「お助け先生」です

子ども同士の小さなトラブルなど、担任一人では目が行き届かないところをカバーしてもらっています。藤田先生がいることで、一人ひとりの子どもにも気持ちやすくなりました。



あそんだりなさん じゅじょうのとき、そばにきて、やさしくおしえてくれます。

こんなお仕事

小学1年生がスムーズにスタートを切れるよう、担任のサポーター役として、生活・学習指導の補助を行います。一人ひとりの児童に寄り添い、つまづきを発見し支援することで、学校生活への適応力を育て、学力の基礎づくりをうながしています。

気配りと工夫に感心しています

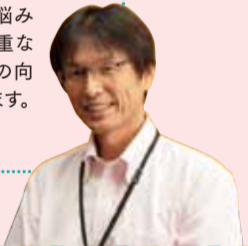
全国学校事務研究会の岡山支部長でもある奥山先生は、常にコスト意識を持って学校経営に取り組んでくださっています。教員への働きかけも上手で、なるほどと思える工夫や有益な提案をしていただき、学校全体の改善に貢献してもらっています。



小野恭弘校長

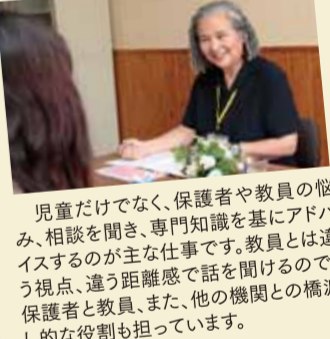
学校には欠かせない存在です

保護者の相談には教員だけでは解決が難しいものもあります。林先生の教員とは違う角度からのアドバイスが、問題解決につながるケースが多くあります。また教員にとっても悩みを聞いてもらえる貴重な存在であり、指導力の向上にもつながっています。



藤井肇校長

こんなお仕事



児童だけでなく、保護者や教員の悩み、相談を聞き、専門知識を基にアドバイスするのが主な仕事です。教員とは違う視点、違う距離感で話を聞けるので、保護者と教員、また、他の機関との橋渡し的な役割も担っています。

学校栄養職員

政田小学校(東区)
成本 優子先生



「おいしい!」を励みに給食調理員さんとともに子どもたちの健康を食でサポートしています

成 長期の子どもたちにとって、からだ作りはなにより重要。おいしさ、栄養管理はもちろん、給食のねらいを伝えられるような献立作成をしています。給食調理員との連携は重要で、児童が苦手な食材も献立や調理の工夫で残量が減り、味覚が広がると感じています。また、学級活動や給食の時間には、発達段階に応じた食育も行っています。スクールランチセミナーでは「早寝早起き朝ごはん」をメインテーマに、食の大切さを学ぶ親子クッキングを毎年実施。大人になった時、自ら健康管理ができるよう、なにか一つでも心に残る食の体験を提供できたらうれしいですね。

こんなお仕事

学校給食の献立作成や調理指導、食材の購入に関する事務、衛生管理などを行います。望ましい食生活を伝えるべく、子どもたちや家庭・地域への啓発活動も行っています。

工夫満載の料理にビックリ

スクールランチセミナーでは、ポリ袋ごはんが炊けたりカレーができたりするの、とても勉強になりました。おいしくできて楽しかったです。



学校の外にも食育を広げています

毎年、主に夏休み期間中に中学校区内の小中学生とその保護者等が参加し、学校栄養職員や給食調理員の指導のもと、公民館などで実施しています。上南学区では、「防災食クッキング」にチャレンジ。緊急時でも缶詰や乾物を活用し、鍋や水を極力使わずにできるアイデア料理を学びました。



【緊急時のアイデア】

- ポリ袋ごはんを炊く(2人分)
- ポリ袋に無洗米(160g)と水(240ml)を入れ、空気を抜いて口を結び、水を入れた鍋に30分以上吸水させておく
- ①を火にかけ、沸騰したら弱火〜中火で20分炊き、その後火を止めてそのまま10分以上蒸らす

★利用後のツナ缶は、ちょっとスモークした味に♪

御船博美さん、悠奈(政田小2年生)、咲葉さん(金岡保育園年長)



左から、6年生栽培委員・森みなみさん、渡邊用さん、岡田昂佑さん、小林勇人さん

学区の子どもたちを保幼小中が連携して育てる

岡山型一貫教育に取り組んでいます

岡山市が進める「岡山型一貫教育」の一例として、ここでは足守中学校区の取り組みを紹介します。

岡山型一貫教育

岡山市では、同じ中学校区にあるすべての学校園（保育園・幼稚園・小学校・中学校）の教職員が、学区の子どもたちの状況をしっかり見定め、取り組むべき課題や方向性を共有し、発達段階に応じて継続的に指導に取り組む「岡山型一貫教育」を推進しています。

「岡山型一貫教育」のモデル校
足守中学校区の
取り組み

学びの連続性に視点を置いた 保育・授業づくりを公開発表

足守地区

岡山市

足守中学校区では、平成21年度から足守幼稚園・足守小学校・蛍明小学校・足守中学校が協力し、一貫教育の効果的な推進に向けた研究に取り組んできました。平成25年6月には、4年間の集大成として公開授業や講演会などを併せた研究発表会を実施。岡山市全域から約220名の先生方が参加する中、学び合う力を高める活動の工夫や郷土への理解を深める授業の取り組み、「学びの連続性」に視点を置いた「学びの系統表」の提案などが行われました。



足守中学校

グループで
課題に取り組む
「解決型」学習



蛍明小学校

車が遠く走る
乾電池のつなぎ方を
考える学び合いの
授業



足守幼稚園

自分で工夫して
学ぶ体験遊び
「花でジュース
をつくらう」



足守小学校

郷土への
関心を深める
「足もりのマップ作り」

研究発表会に参加した先生方の声

岡山型一貫教育を通じて、小中間の垣根が低くなってきたと思う。教師同士がもっと緊密に情報交換をして、さらによいものになっていけばいいと思います。

妹尾中学校
中原修二教諭

中学校区で一貫して教育に取り組むにあたって、系統表があることで、教師がぶれずに指導していけるのはすごく良いと思います。私の学区でもこれを参考に作っていきたいと思います。（小学校教諭）

足守小学校の授業では、自分たちが住んでいる地域のことをたくさん調べ、それぞれが思いをもって授業にのぞんでいる姿が素敵だと思いました。また、仲間づくりもしっかりできており、自分の意見を活発に出し合っていることに驚きました。（幼稚園教諭）

Q どんな学びをしていますか？

11年間の学びの出口となる
足守中学校の津川校長に話を聞きました。

A

足守地区では、小中連携を深めていくために「教育内容の連続性」とともに、「学び方の連続性」に重点を置いた取り組みを進めています。具体的には、「学び合う活動」を授業に効果的に取り入れています。たとえば社会に出て、職場のチームなどで一つのものを作り上げていく際、相手の意見や価値観を理解する能力はとても大切になってくると思います。チームやグループのために主体的に学ぼうとする意欲を伸ばし、自分とは違う発想や視点などに耳を傾け、他者の豊かな多様性を認め合える、そんな子どもたちの育成につながればと思っています。



足守中学校
津川倫郎校長

Q 小中の違いをどう感じていますか？

岡山市では、取り組みの推進に向けて
小中間の人事交流を行っています。
小学校から中学校に来られた藤井先生に話を聞きました。

A

中学校に上がると、教科担任制になり、宿題も教科ごとになるなど、小学校とは学習のルールや文化が大きく変わります。そのせいか、中1の1学期は生徒たちも疲れて見えますね。教師側も小学校ごとに学びの姿が違うため、授業の進め方に戸惑うこともあります。

たとえば、「めあて」を立てて予想や見通しを持って学習に取り組む課題解決型の授業を一貫して行えるよう、授業づくりのポイントを小中の教員がしっかりと共有することが大切だと思いますね。

生徒指導においても、小6から中1の引き継ぎはとても大切で、一人ひとりの性格や体質、友人関係など事前に知っておくことで、生徒の個性をより尊重した対応ができます。

小中間の人事交流で互いの学校の理解をさらに深めていければと思っています。



足守中学校
藤井永之教諭

平成26年4月には、岡山型一貫教育をより効果的に進めることができるよう、蛍明小と足守中の一体型校舎での教育活動がスタートするよ。



おかやまし
教育広報紙
「こらぼ」の

イメージキャラクターの 愛称を募集します!!

ぼくの名前を考えてね
犬をモチーフに、白桃をイメージした
顔と耳が特徴だワン!!



プロフィール

- 学** 年 小学4年生
- 性** 別 男の子
- 役** 割 学校でみんなと一緒に勉強しながら、岡山市の教育のことを広報紙で紹介すること
- 好きな食べ物** 給食のソフトめん、白桃
- 好きなこと** 休み時間に校庭を走り回って遊ぶこと
- 苦手なこと** 勉強（とくに国語）
- 最近のできごと** おじいちゃんに将棋を教えてもらっているよ

愛称の発表は次号で!!

キャラクター名が採用された方(1名)には、図書カード1,000円分をプレゼント♪

応募条件 市内在住の18歳未満の方(在園・在学は問いません)

応募方法 〒、住所、氏名、年齢(在園・在学の方は学校名・学年)、保護者氏名、電話番号、キャラクター名、名前の意味を明記し、ご応募ください。

あて先・応募締切は、右記のご意見・ご感想募集と同じです→

*同一名称多数の場合は、抽選で1名に決定します。
*名称決定者の氏名、年齢、学校名、学年は紙面で公表する場合があります。

こらぼに寄せられた ご意見・ご感想



たくさんのお便りありがとうございました!!
皆さんの意見を参考に、
これからもいろんなことにチャレンジしていくワン!

市販の雑誌に掲載されているような全国的な情報ではなく、地域に根差した教育情報が読めるというのがいいです(30代)。

子どもの学ぶ意欲や考える力を引き出し伸ばそうとする先生方や地域ボランティアの方々の思いや工夫、努力が伝わってきて、子どもたちは色々な方々に見守られ、学習できる幸せな環境の中にいるんだなぁと感じました。そして、その力を定着させるためにも、家庭学習の大切さを改めて感じました(30代)。

ご感想をお聞かせください!!

教育広報紙「こらぼ」へのご意見・ご感想をお寄せください。お寄せいただいた方の中から、抽選で図書カード1,000円分を5名の方にプレゼントします。

応募方法 〒、住所、氏名、年齢(または学年)、電話番号を明記の上、下記のあて先へご応募ください。

【はがき・封書】 〒700-8544 岡山市北区大供1-1-1 岡山市教育委員会事務局教育企画総務課 行

【FAX】 086-234-4141 【Eメール】 korabo@city.okayama.jp

応募締切 平成26年1月31日(金) 当日消印有効

メール用



※お寄せいただいた個人情報は、業務目的以外には使用いたしません。※当選者の発表は、賞品の発送をもってかえさせていただきます。